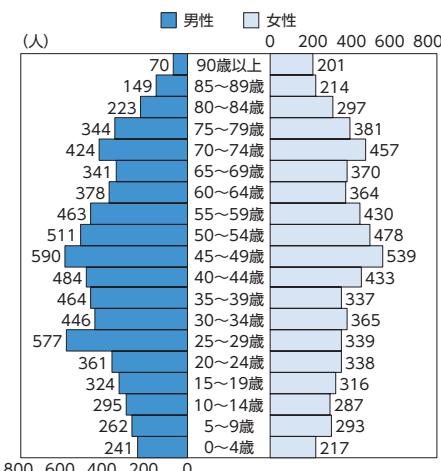


広丘地区

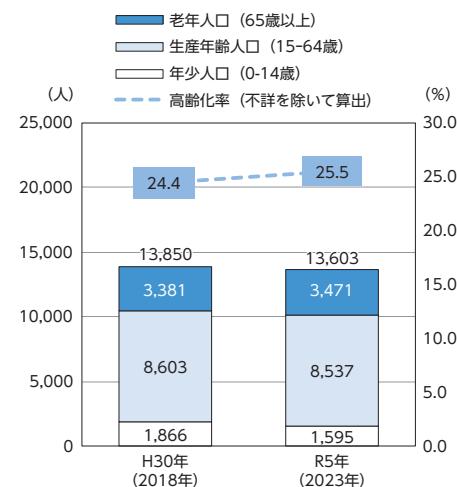
- 令和5年の人口は、平成30年と比較し減少している。令和5年の高齢化率は25.5%と市全体よりも低い。出生数よりも死亡数が上回っており、自然減の傾向にある。
- 市全体よりも持ち家の割合が低く、区の加入率も低い。令和2年時点で5年以内に広丘地区に移った割合は27.1%であり、市全体と比較して移住者の割合が高い。
- ご近所付き合いは「会えば挨拶をする程度」が62.0%であり、最も割合が高くなっている。
- 地域課題の上位は「住民同士の交流の希薄化」「免許のない人の移動手段の不足」となっている。

①人口の構造 (R5)



出典：塩尻市住民基本台帳(令和5年4月1日)

②3区分年齢人口・人口増減率・高齢化率

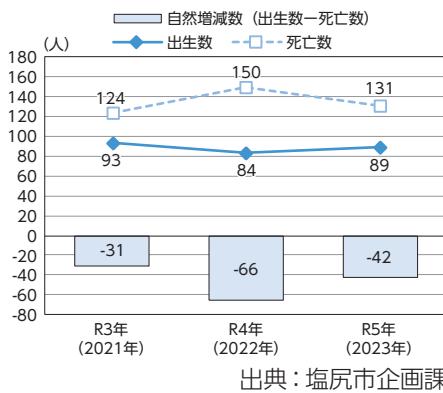


◆平成30年→令和5年
人口増減率
98.2%
(塩尻市 97.6%)

◆令和5年
高齢化率
25.5%
(塩尻市 29.0%)

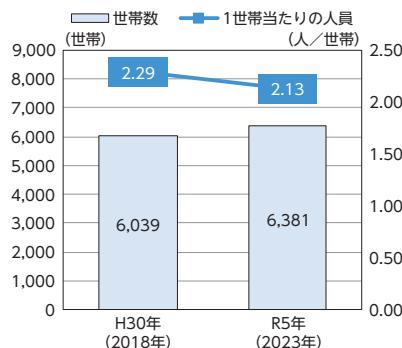
出典：塩尻市住民基本台帳（各年4月1日）

③出生数・死亡数・自然増減



出典：塩尻市企画課

④世帯数



出典：塩尻市住民基本台帳（各年4月1日）

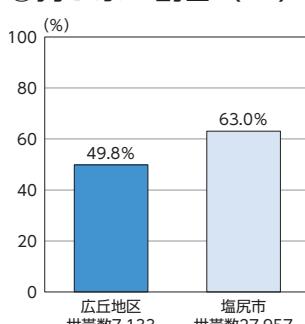
⑤高齢者世帯数 (R5)

◆高齢者世帯数
(65歳以上ののみで構成される世帯)
1,384世帯

◆一人暮らし
高齢者世帯数
769世帯

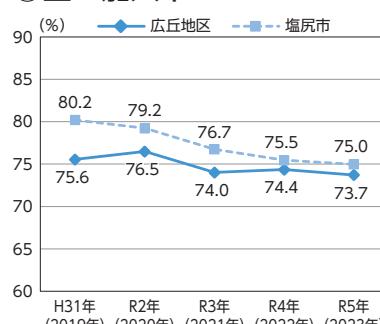
出典：塩尻市市民課
(令和5年3月31日)

⑥持ち家の割合 (R2)



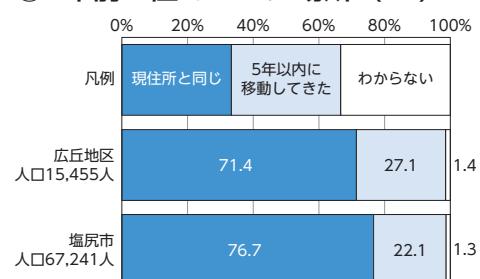
出典：総務省「国勢調査」
(令和2年10月1日)

⑦区の加入率



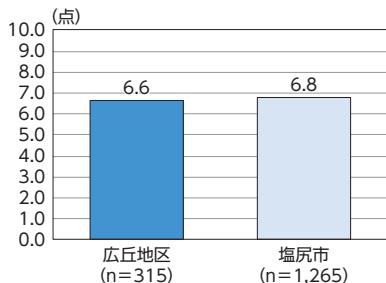
出典：塩尻市地域づくり課
(各年1月1日)

⑧5年前に住んでいた場所 (R2)

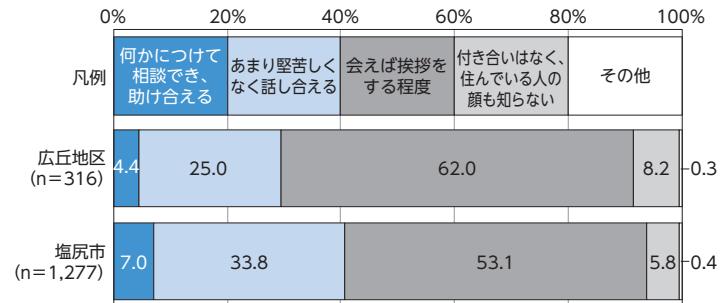


出典：総務省「国勢調査」
(令和2年10月1日)

⑨幸福度

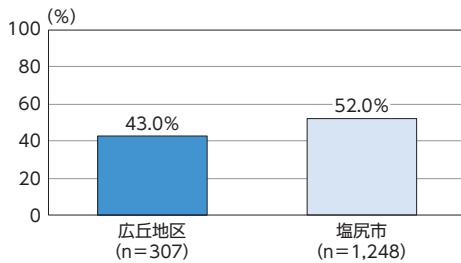


⑩ご近所付き合いの状況

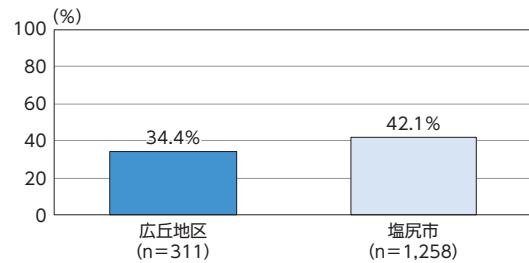


⑪集落の人々が困っていたら手助けをする

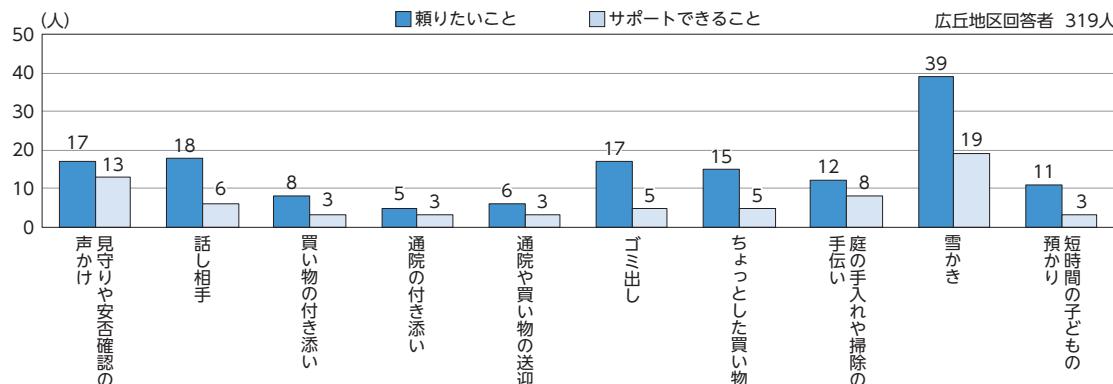
※⑪⑫は、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた割合



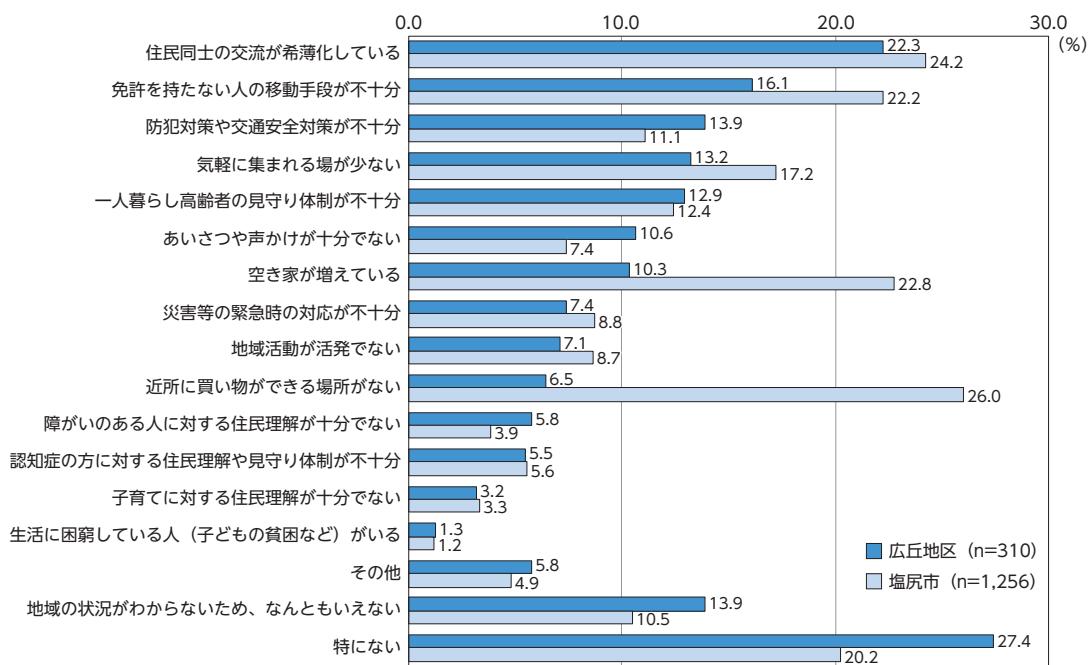
⑫困ったときに相談できる人が身近にいる



⑬日常の生活の中で頼りたいこと、サポートできること



⑭住んでいる地域において、気がかりなこと・気になっていること



⑨～⑭の出典は令和4年度市民アンケート